

第76回指定都市小学校長会研究協議会 新潟大会 大会主題（案）

R4.3.18

大会主題

新たな未来を構想し、ポストコロナ時代の教育を創出する学校経営の推進（案）

大会主題設定の理由

2020年度（令和2年度）新学習指導要領が全面実施となり、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組み始めた矢先、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、学校はその対策に追われることとなった。

全国的に感染症が拡大する中、学校は臨時休業や分散登校を余儀なくされ、そうした緊急時におい

ても全ての子どもたちの学びを保障できるICTの活用が急務となった。そのため、当初5か年計画だったGIGAスクール構想の実現が加速し、「一人1台端末」と学校における高速通信ネットワークの整備が一気に進められた。

かくして学校は、学習指導要領の確実な実施に加え、新型コロナウイルス感染症への対策とGIGAスクール構想の実現という難題を課せられることとなった。私たち校長会は、それぞれの自治体及び教育委員会と連携・協働し、刻一刻と状況が変化する中で、最適解を見出しながら教育活動を推進し、困難な学校経営の舵取りを任されてきた。

それから2年。指定都市小学校長会においては、令和2年度堺大会の誌上発表、令和3年度熊本大会のリモート開催とたすきをつなぎ、令和4年度3年ぶりに新潟の地に集い、研究協議会を開催する。

広く社会に目を向ければ、急速に進む少子高齢化とグローバル化が地域社会の変容や人々の多様性を促し、高度な情報化・デジタル化の進展が人々の暮らしや働き方を変えている。そこに突如として襲いかかる感染症や自然災害は地球規模の変動をもたらしている。予測困難な時代の到来と言われて久しいが、いつの時代においても、教育は人を育てることを通して未来を創る営みである。

ウィズコロナの今、私たちは目の前の子どもたちを守ることに精一杯で、ポストコロナに向けてのビジョンが描けないでいる。今こそ、困難を乗り越えてきた力を未来を創り出す力に換えて、子どもたちが社会で活躍する10年後、20年後を構想し、ポストコロナ時代の学校教育の在り方を考え、新たな時代の学校経営を推進することを私たちの使命としたい。

以上のことから、本大会の主題を「新たな未来を構想し、ポストコロナ時代の教育を創出する学校経営の推進」と定め、大都市が直面する教育上の諸問題や小学校長としての学校経営の在り方、果たすべき役割など、各都市の実態や情報を基に協議し、今後の大都市小学校長会の充実、発展につなげていきたい。